

防火会報 2018

毎月1日は
防災の日です



(一社)田川地区防災協会シンボルマーク

(一社)田川地区防災協会

NO.44

●発行 一般社団法人 田川地区防災協会
●発行人 二場 浩隆
●印刷 (有)川崎印刷 ☎42-8420



消防長賞

平成29年度 田川地区消防本部 防災作品
絵 赤村立赤中学校3年 松尾 桃花さん

[平成29年度 田川地区消防本部 防災作品]
消防長賞 赤村立赤中学校3年 松尾桃花さん

主な
記載記事

定時総会 3
火災と救急の概要 4
実施した防災事業 5

●平成29年度 全国統一防火標語

火の用心 ことばを形に 習慣に

●平成29年度 危険物安全週間推進標語

あなたなら 無事故の着地 決められる

謹んで新年のお慶びを

申し上げます



一般社団法人
田川地区防災協会
会長 二場 浩隆

輝かしい平成30年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様方におかれましては、田川地区における唯一の民間防災協力団体として、それぞれの地域や職場において、献身的なご尽力を賜り深く敬意を表します。

昨年の5月25日に開催されました平成29年度一般社団法人田川地区防災協定会定総会におきまして、はからずも皆様のご推挙をいただき会長に就任いたしました。

この責任の重さを感じているところでございます。

本協会の平田前会長は、田川地区の地域防災活動に多くの業績を残され、このご功績に対しまして、本紙面をお借りして敬意と感謝を申し上げます。

私たち田川地区防災協会は、災害のない安心して暮らせる街づくりを目指して、会員一丸となって設立以



来一貫して自主防災の確立、防火思想の普及啓発に努めてまいりました。特に、災害弱者と言われております高齢者や身体不自由な方を災害から守るため、防火診断において住宅用火災警報器の設置や災害時における非常用持出袋の配付など、福祉防災事業に取り組んでいます。これから、これら事業の充実を図っていかなくてはなりません。

昨年は役員が改選され、新たな時代のスタートとなりましたが、災害の発生は後を絶たず、地震や台風、活断層梅雨前線による風水害が発生し、多大なる被害が発生しております。災害は、いつ、どこで発生するかはわかりません。そのためにも、これまでの協会のモットーとしてきた「自分たちの地域や職場は、自分たちで守る。」という意識のもとに、各種啓発事業を展開していくこととされています。

皆様の絶大なるご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。終わりにになりましたが、会員の皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



田川地区消防本部
消防長 浦野 洋一郎

平成30年の輝かしい新年を迎え、一般社団法人田川地区防災協会の会員の皆様は謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人田川地区防災協会会員の皆様方におかれましては、平素から消防行政にご理解とご支援を頂き、心からお礼を申し上げます。

昨年は、防災協会の定時総会で役員の改選が行われ、この改選により平田会長をはじめ一部の役員の方々が御勇退されましたが、これまで防災協会の役員として田川地区における自主防災活動の確立、火災予防思想の普及啓発など、各種防災事業を積極的に取り組んでこられました功績にたいしまして、衷心より感謝を申し上げます。

また、今回の役員改選により新会長に就任されました二場会長をはじめ、役員になられました皆様に更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、5月に発生した飯塚市での産業廃棄物火災では鎮火までに約1か月の活動、九州北部豪雨につきましては、いまだに大きな災害の爪痕を残し、当管

内の添田町榊田、落合地区においても、記録的な豪雨となり、幸いにも犠牲者はいませんでした。自然災害の恐ろしさを、改めて感じた次第であります。

このような自然災害は、いつどこで発生するかを予測することは非常に困難ではありますが、気象情報の総合的な把握と災害危険地域等の早期避難体制等の整備が重要であることを認識し、災害時に連携を取りながら災害対応できるよう消防本部では、尚一層の地域防災力の向上を推進していきたい所存であります。しかしながら、災害が発生した場合の拡大防止のためには、消防本部、消防団、市町村の公助の力だけではなく、地域住民らの自助・共助の対応能力を向上させる必要があると考えています。

一般社団法人田川地区防災協会は、発足時の理念が、まさに昨今呼ばれています共助である自主防災組織の先駆的な組織であり、今後は、消防本部と防災協会とで、防災思想の啓発を更に働きかけていきたいと思っています。

消防本部といたしましては、消防力と住民サービスを維持しつつ、地域住民の期待にこたえるよう消防行政の推進に全力をあげるとともに、「災害の無い町、田川・住みやすい町、田川」を目指し頑張っていく所存でありますので、より一層の尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協会ますますのご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



平成二十九年度総会は、多数の来賓を迎え開催されました。議決された内容は次のとおりです。

一 平成二十八年度一般社団法人田川地区防災協会収支決算の承認について及び監査報告について
二 役員の選任について

総会

平成29年度の定時総会が、平成29年5月25日(木)ザ・プリティッシュヒルズにおいて開催されました。

平成28年度収支決算などの上程された議案はすべて議決されました。

また、議案審議に先立ち防災功労による表彰の授与も行われました。

防災功労表彰を受けられた方は次のとおりです。

防災功労表彰【会長表彰】

● 防火優良事業所

(株)大任エネルギー
マクセル(株)
(有)石見商会
(一社)田川医師会
(社)福 筑豊福祉会

(特養)第二長寿園

大黒町地区
日本郵便(株) 田川船尾郵便局

● 優良危険物取扱者

松本 智宏(有)三栄石販
敷地 雄介(旭工業(株))
白本 勝行(株)村上建設

● 優良消防設備業者

(有)宮田設備商会

● 優良消防設備士

橋本 光史(有)トキワ工業

● 優良防火管理者

山田 三義(医恵和会田川慈恵病院)

笹山 郁子(社)福 田川福祉会

(特養)ことうき園

安永 文彦

(株)杉山製作所九州事業所

● 優良業務主任者

桑野 弘子(桑野プロパン)

今年度理事の改選で新たに選任された正副会長及び理事は次のとおりです。
(順不同敬称略)

会 長

二場 浩隆(八友会)

副会長

川端喜美男(有)川端電工

江藤 正剛(江藤石油)

仲村 一秀(マクセル(株))

吉田 久志(特養)長寿園

高嶋 康弘(有)高島プロパン店

柴田 晋一(一社)田川医師会

理 事

山本 浩(有)山本石油店

日高 厚(日高石油(株))

久本 実(山栄石油方城給油所)

桑野 秀幸(株)桑野商事

小嶋 尚記(株)キノシタ

村上 忠輔(有)総合

吉田 伸也(有)三栄石販

嶋津 亮彦(株)谷口石油

平田 俊成(株)水交舎

吉田 善行(有)今川工務店

藤浦 壽(有)藤浦設備

池田 昇(有)池田商会

最所 豊(有)永岡燃料)

中原 俊博

(一社)社会保険田川病院



橋本 尚太(株)ハシモト

桑野 和弘

(日本フイルター工業(株)田川工場)

田中 睦久(国際工業(株))

古賀 洋介(松尾製菓(株))

坂本健一郎(日立化成オートモティブプロダクツ(株))

楠 哲也(太陽セランド(株))

平井 太郎(マルボシ酢(株))

北山 幸司(株)九電工田川営業所

嘉久遥一郎(田川構内自動車(株))

下山久美義(水谷建設工業(株))

成田 忠憲(有)成田建設

木下 哲之(株)百恵商事

田丸 米蔵

(田川自動車整備工業会)

下田 貢(豊前川崎商工会議所)

鶴我 正司(田川商工会議所)

永松 博己

(後藤寺商店街振興組合)

小野 隆(津野郵便局)

関師 史哉(大藪郵便局)

崎山 亮(特養)添寿園

(平成29年中)

田川地区の火災・救急概要



平成29年中の火災件数は74件であり、昨年の52件と比較すると、22件増加しています。火災による損害額は759,343千円で、前年と比べて671,126千円の増加となっています。

出火原因は、たき火が14件と最も多く、次いで、ストーブ、火遊び、放火（疑い含む）がそれぞれ4件となっています。

特にたき火や放火による火災は、毎年上位となっており、地域住民一人一人の防火意識の向上が求められています。

順位	出火原因	総件数	1	2	2	2	5	6	7	7	7	7	7	7	不明（調査中を含む）
			たき火	放火（疑い含む）	火遊び	ストーブ	火入れ	たばこ	こんろ	風呂かまど	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	マッチ・ライター	その他
合計			74	14	4	4	4	2	1	1	1	1	1	1	23

■火災の前年比較表

区 分		平成28年中	平成29年中	増減
火 災	件 数	52件	74件	22件
焼 損 面 積	建 物	1,726㎡	2,055㎡	329㎡
	林 野	0a	133a	133a
焼 損	棟 数	33棟	40棟	7棟
り 災	世 帯	21世帯	49世帯	28世帯
り 災	者 数	45人	89人	44人
死	者	2人	2人	0人
負 傷	者	6人	3人	-3人
損 害 額		88,217千円	759,343千円	671,126千円
全火災の1件当りの損害額		1,696千円	10,261千円	8,565千円
建物火災1件当り	焼 損 面 積	75㎡	86㎡	11㎡
	損 害 額	3,757千円	2,403千円	-1,354千円
1ヶ月当りの火災件数		4.3件	6.2件	1.9件
出 動 人 員（延）		615人	858人	243人
備 考		平成29年中の火災件数及び損害額（内訳）		
		建 物	24件	57,667千円
		林 野	5件	3千円
		車 両	5件	1,659千円
		その他	40件	700,014千円
		（爆発）	0件	0千円

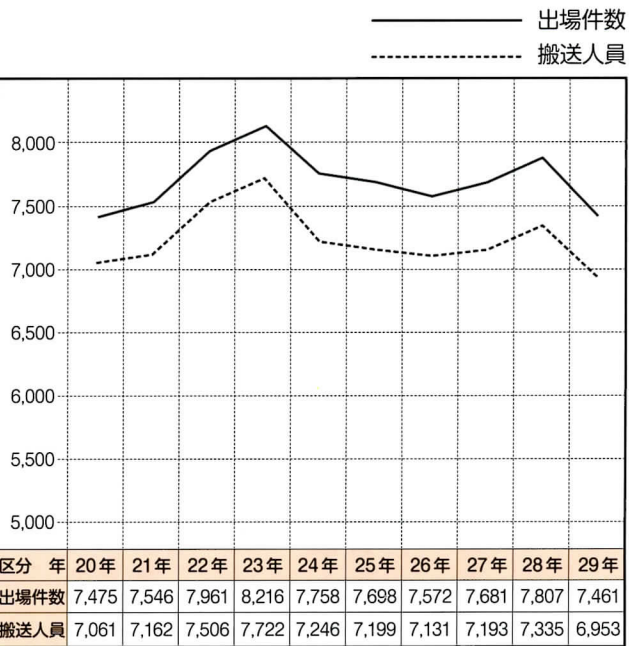


■救急の前年比較表

区分	年	前 年 対 比				
		平成28年	平成29年	増減		
出 場 件 数		7,807	7,461	-346	平成29年 救急出場別	
救 急 件 数		7,258	6,898	-360		
搬 送 人 員		7,335	6,953	-382		
救 急 出 場 件 数	事 故 別	平成28年	平成29年	増減	構成率%	順位
	急 病	4,791	4,568	-233	61.23%	1
	転 院	1,099	1,070	-29	14.34%	2
	一 般 負 傷	932	897	-35	12.02%	3
	交 通 事 故	459	421	-38	5.64%	4
	そ の 他	362	384	22	5.15%	5
	自 損 行 為	61	57	-4	0.76%	6
	労働災害事故	42	25	-17	0.34%	7
	運動競技事故	15	18	3	0.24%	8
	加 害	31	17	-14	0.23%	9
	水 難 事 故	10	3	-7	0.04%	10
	火 災	5	1	-4	0.01%	11
	自然災害事故	0	0	0	0.00%	12
一 日 平 均 件 数		21.3	20.4			

平成20年以降、10年間の救急出場件数の推移は下表のとおりです。

1日平均では21.0件の出場件数になっています。



平成29年中

実施した防災事業

災害の未然防止を図るために、消防機関と協力して本年も各種事業を実施しました。多くの人が安心して暮らせる田川を目指して、防災の輪を広げる活動を行っています。



防火診断を実施

当協会では、秋季全国火災予防運動期間に併せて高齢者家庭の防火診断を行いました。

防火診断では、ガスコンロや石油ストーブ等の火気の取り扱いや、寝室に住宅用火災警報器の設置並びにコンセントのタコ足配線等について点検を行いながら、世間話を交えて火災予防についての話をしました。

防火診断の結果、火気の使用については良好でありましたが、何軒かにコンセントのタコ足配線やプラグの接続が不完全なものが見られトラッキングの危険性を説明し、必要な器具だけを接続するようにお願いしました。

また、寝室に住宅用火災警報器の未設置も数世帯あったため、住宅火災による死者の発生原因は、気づくのが遅れたことによる逃げ遅れが多いこと説明し、寝室に住宅用火災警報器を設置するように普及啓発に努めました。このように高齢者家庭の防火診断は、

火災予防に大変成果が上がっている事業です。

今年は、地震、台風等の自然災害が多く発生していることから、当協会としまして防災グッズ（非常持出袋）を贈呈することになりました。

危険物取扱者試験準備講習会実施

当協会では、毎年3回実施される危険物取扱者試験の受験者を対象とした試験準備講習会を実施しています。受講者は、次のとおりです。

- 危険物取扱者試験準備講習会
- 6月5日(日) 十九名
- 10月2日(日) 十六名
- 2月5日(日) 十七名



役員視察研修

平成29年度の役員視察研修は、9月28日に実施し、14名の役員と2名の来賓及び事務局3名が参加しました。

今年度は、久留米市高野一丁目の九州防災・火山技術センターと嘉麻市牛隈の福岡県消防学校を視察しました。九州防災・火山技術センターでは、九州各地で発生する風水害・土砂災害等への対応等の説明を受け、昨年7月の九州北部豪雨の際に派遣された特殊機材や特殊車両の見学を行いました。昨年4月に嘉麻市に新築移転された福岡県消防学校は、近年の災害の多様化、複雑化に対応していくための消防職員、消防団員の資質を高めることを目的とし、より高度な技術を習得するための最新の訓練施設の見学を行いました。

役員からは、日頃見学することができない施設を見学し、防災に関する知識を再確認できるよい研修になったとの声を頂きました。



火災予防運動を協賛

3月・11月

当協会では、春季及び秋季の火災予防運動の協賛を行なっています。

平成29年3月1日(水)添田町道の駅 歓遊舎ひこさんでたから保育園が、3月2日(木)田川市サンリブ田川でちびっ子保育所が防火演奏を実施しました。平成29年11月8日(水)田川市サンリブ田川で伊加利子鳩保育園が、11月9日(木)は香春町道の駅香春わぎえの里で勾金保育所・香春保育所・採銅所保育所が合同で防火演奏を実施しました。当協会は火災予防運動の協賛を行っており、リーフレット配布による火災予防啓発を行ないました。

保育園児は、大きな声で防火の誓いを行いました。その後、防火演奏を行なった保育園等に記念品を贈りました。

今後も幼年期からの火災予防啓発を実施していくこととしています。



お 知 ら せ

平成30年度の各種資格取得試験及び講習会の予定をお知らせします。
会場の都合により変更する場合がありますため、消防本部予防課内の事務局で確認して下さい。

●危険物取扱者試験

第1回 平成30年6月初旬頃

〔願書受付期間〕

4月中旬から4月下旬まで

第2回 平成30年10月下旬頃

〔願書受付期間〕

8月中旬から8月下旬まで

第3回 平成31年2月上旬頃

〔願書受付期間〕

協会では、それぞれの試験日にあわせて、乙種4類の試験準備講習会を実施する予定です。
危険物取扱者試験は、県内4会場で

実施されますが、筑豊地区は田川市の福岡県立大学が会場になります。

●消防設備士試験

第1回 福岡市・田川市

平成30年7月中旬頃

第2回 北九州市

平成30年8月上旬頃

第3回 福岡市・田川市

平成30年12月中旬頃

●危険物取扱者保安講習

平成30年10月中旬頃

筑豊地区会場は、直方市を予定しています。
受講者はいずれかの日に3時間の受講が必要です。危険物取扱作業に従事している次のような人が受講対象となります。

- ① 継続して危険物取扱作業に従事している方は、前回の講習を受けた日以後の最初の4月1日から3年以内。
- ② 新たに又は再び従事する方は、従事することとなった日から1年以内。
- ③ 過去2年以内に免状の交付又は講習を受けている方は、免状の交付又は受講した日以後の最初の4月1日から3年以内。

※危険物取扱作業に従事していない人は受講の必要はありません。

●消防設備士法定講習

平成30年10月～12月（未定）

消防設備 1日

警報設備 1日

避難設備 1日

筑豊地区の会場は、田川市（田川地区消防本部）を予定しています。
受講対象者は、次のとおりです。

- ① 消防設備士免状の交付を受けた日から2年以内の人
- ② 前回の講習を受けた日から5年以内の人

住宅用火災警報器を
取り付けましょう！

10年たったら、
とりカエル。

お宅の火災警報器の話です。



住宅用火災警報器は、
10年を目安に、とりカエル！
わが家と家族を守る基本です。

フリーダイヤル 0120-565-911

※火災警報器の設置は、消防法で義務付けられています。

田川地区消防本部
(一社)田川地区防災協会

火災により発生する煙を自動的に感知し、逃げ遅れなどからの被害を無くすために、住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。

田川地区の設置率は、全国平均よりも低いため、火災から大切な家族の命を守るために設置を心がけましょう！

また、電池の寿命は10年が目安です。

電池を交換するか、新しい住宅用火災警報器に取り換えてください。

なお、消防職員を装った販売や、高額請求など悪質な訪問販売の被害が発生しています。

消防職員による販売や、消防署が特定業者に販売を依頼することはありません。



一般社団法人
田川地区防災協会
へのお問合せ

事務局

田川市大字川宮1570番地
田川地区消防本部予防課内

☎0947-44-0650(内線132)
☎0947-44-6256(直通電話)

編 集 後 記

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

この会報も今回で第44号となりました。会報発行にあたり会員の皆様にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

事務局長 佐藤 和久
事務局 野澤 友宏

事務局 高津 雅典
事務局 浦川 えみ子